

# 東海大会の注意事項とルールブックの抜粋

## トウル

- ・演じるトウルについて

決勝戦以外は、主審から指定されたトウルを1つ演じます。決勝戦のみ、2つのトウルを演じます。どちらも主審が指定します。※中学生I部・成年I部は準決勝から指定2個

- ・今大会は、中学生I部・成年I部の3位決定戦と決勝戦は各選手1人ずつ演じます。

- ・白帯のトウルの競技はサージュチルギのチャーロとウーロの両方を演じます。

指定されるトウルは帯の色に応じて、演じることの出来る全てのトウルが指定される可能性があります。ただし色帯、黒帯にサージュチルギ・マッキが指定されることはありません。

## マッソギ

- ・防具についての注意点

男子の選手のファールカップは道着の中に着用する事。

## □試合時間

カテゴリ	1回戦～3位決定戦	決勝戦
小学生以下	1. 5分 1ラウンド	1. 5分 2ラウンド
中学生	2分 1ラウンド	2分 2ラウンド
成年部・シニア（有級・II部）	2分 1ラウンド	2分 2ラウンド
成年部・シニア（有段・I部）	3分 1ラウンド	2分 2ラウンド

## □ポイント

有効打	ポイント
手技	1ポイント
腹部への足技（鎖骨を含む）	2ポイント
頭部への足技	3ポイント

## □試合の傾向から注意する場合がある行為

- ・アピール（相手の攻撃が当たっていないのアピールをした場合）

## □その他

・試合開始前の選手同士の手を合わせる行為は「シージャ」の合図の前に終わらせてください。スムーズな運営にご協力ください。

## 団体ツール

### □演じるツールについて

自由に選択できるものとします。選択したツール1つを演じます。決勝戦まで1つで行われます。

### □進行について

まず両チームがコート内に入り、審判団と直角方向にて向かい合って整列し、チーム同士が主審の号令で正面とお互いに礼を行います。

赤側のチームから演技を始めます。演技を行うチームは配置に付きます。配置に付く際の入場などの演技は無しとします。

主審が演技を始めることを許可した後に、チーム内のリーダーの号令にて演技を始めます。

例：リーダーが『〇〇ツール準備』→『シージャ』で演技スタート。終了後『パロ』→『シオ』にて演技終了。

## 団体マッソギ

### □試合時間について

各試合**1分30秒**にて行われます。

### □進行（先攻と後攻の決定）

開始時に両チームのリーダーがじゃんけんを行い、勝った方が**先攻か後攻を選択**する。

先攻となった側のチームが選手を先に選出し、後攻のチームは相手選手を確認して選手を選出することが出来る。

**次戦は勝敗に関係なく後攻側が選手を出しその後も引き続き勝敗に関係なく交互に選手を出して**いきます。

次の選手を選出する時間について、先攻側は前の試合が**終了後1分以内**に選出をする事とし、後攻側は先攻の選手**決定後1分以内**に選出する事とする。

## セコンド

・本会の会員であること。

・セコンドに付く際の服装は、スポーツウェア、もしくは道着であること。（靴については特に規定しないものとする。）

・原則セコンドは**同じ道場の会員**とする

（※但し、同じ道場でセコンドに付ける者が居ない場合にセコンドを指定するには、以下の優先順位の通りとする※）

1. 同道場→2. 同都府県→3. 同エリア（関東・関西・中部）

上記の優先順位でもセコンドが居ない場合のみ大会実行委員長にセコンドの申告し承認を得るものとします。